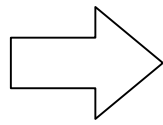


南町 はちまちプロジェクト

■ 八幡町のまちづくり

八幡町では平成 10 年に「まちづくり協議会」が設立し、いままでに交通網の整備や水辺の利用についてまちづくりを行ってきました。平成 13 年からは第 2 期として北部・東部・南部の 3 つの地域に分かれそれぞれの地域で自分たちのまちの課題について話し合っています。



■ 現在の八幡町の状況

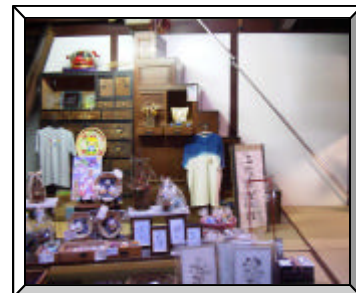
現在八幡町には 170 件近い空き家があります。これらの空き家の多くが帰省してくる子供のためや、避暑地として利用するために残してあります。しかし、空き家、空き店舗が増え続けることで景観が阻害されたり、商店街では活力が低下し商店街全体の衰退に繋がってくるなどの問題があります。

■ 北町 町屋本右衛門

北町では空き家対策のために職人町にある空き家を借り上げ、総合店舗「町屋本右衛門」を住民と一緒に創り上げていきました。本右衛門では 4 回のワークショップを重ね空き家の活用方法や、そこで何をしたいのか、どんな空間にしたいのかなどについて話し合いが行われ空き家を活かすためのアイデアや仕組みを考えていき、実現へ向け取り組んでいきました。



13 年 6 月に「町屋本右衛門」と名付けられオープンしました。ここでは八幡町に住んでいる住民が各ブースに自分が作ったものなどを展示していて、訪れてくる観光客に販売しています。



■ 南町 はちまちプロジェクト

南町では自分たちまちの課題について話し合いが行われいくつかの課題があ挙げられました。

- ・ 空き家の再利用
- ・ 水辺の利用
- ・ 視察研修
- ・ 町有地となった山の利用

いくつか挙げられた課題の中からまち全体の問題にもなっている空き家について取り組んでいくことになりました。



南町のまちづくりは「はちまちプロジェクト」と名前が決まり、9 月 11 日に第 1 回はちまちプロジェクトが行われました。

空き家について取り組んでいくために北町の本右衛門の出来るまでの流れを参加者の皆さんと勉強しました。



次に南町では何をやりたのか、自分たちがやるならこんなことをしたい、こんなことに取り組んでいきたいということを参加者の人たちに一人一人意見を出してもらいました。



最後に実際プロジェクトの対象となる空き家をきめるために南町で思い当たる空き家をみんなで出し合いました。



8 件の空き家を候補に挙げたところで第 1 回ワークショップは終了しました。

- ・ 託児機能を持った施設で落ち着ける場所
- ・ お年よりに集ってもらえる場所
- ・ スポーツサークルのような集まれる場所
- ・ 地元の人や観光客が集まりやすい場所
- ・ 一人芝居や一人かがりが出来る場所
- ・ 八幡の文化を残しながら八幡にあるものを利用して今八幡にないものを作りたい

これからはちまちプロジェクトでは本右衛門の 2、3 号店と続いていくようなもの、将来的に空き家情報のコアとなるようなものを作っていきたいと考えています。